「次期中期目標・中期計画の策定に当たって」

大学評価フォーラム 2008.7.7

大学基準協会特任研究員 国立大学協会調査研究部前プロジェクトリーダー 生 和 秀 敏

- 第一期・中期目標・中期計画の問題点
- 1、法人評価と認証評価の区別がされていない。法人評価の目的は説明責任(アカウンタビリティ)認証評価の目的は質保証(アクレディテーション)
- 2、中期目標に各大学法人の個性が表れていない。 長期目標との整合性が十分ではない。
- 3、中期計画が総花的で、構造化されていない。 現況分析と目標・計画とが乖離している。
- 4、事業期間内に達成する見込みのないものまで含まれている。
- 5、資源(ヒト・モノ・カネ)の投入計画が示されていない。

- 〇 <u>第二期・中期目標・中期計画の策定に当たっての留意点</u>
- 1、中期目標・中期計画は、大学法人と国との間の契約である。目標設定は法人の自己裁量、目標達成は法人の自己責任。
- 2、伝統・規模・実績などを踏まえ、達成可能なものを盛り込む。 構成員が現状を自己点検・評価することから始める。 評価結果を計画に繋げる戦略決定部門を強化する。
- 3、目標達成の可能性は「意気込み」ではなく「資源」にある。 資源の裏付けのない目標・計画は、盛り込むべきではない。
- 4、中期目標は長期目標を実現するためのマイル・ストーン。 長期目標を構成員が共有することが重要である。
- 5、全ての活動を目標・計画に盛り込む必要は全くない。 取捨選択が出来ることが自己管理能力の証である。